

問 1 （40 点）

【採点のポイント】

- ・ 利他行動と自分勝手についての筆者の主張を理解し，説明できているか。

【解答例】

筆者は，ある行動が自分と他人にとってプラスになるかマイナスになるかによって，人間の行動を四つに分けている。そして利他行動とは自分にマイナスでも他人にプラスとなる行動，自分勝手とは自分にプラスでも他人がマイナスとなる行動だとしている。ただし，利他行動をやめる，自分勝手をやめるというようにその行動を変化させると，自分と他人にとってのプラス，マイナスを変化させる。その結果，利他行動と自分勝手は，その対極である自分勝手，利他行動になる。つまり筆者は，ある行動をやめることがその対極の行動に等しくなると理解している。

問 2 （60 点）

【採点のポイント】

- ・ 自分勝手な行動について，自分なりの意見が，論理的に示せているか。

【解答例】

筆者に従えば，自分勝手な行動とは，自分の利益は追求するがそのことによって他人の不利益を生み出す行動である。これが人間関係を悪化させる要因となることは容易に想像されるので，現代の親たちは我が子に「他人に迷惑をかけない人間」になることを求める。私も，人間関係を大切にするためには，利他的な行動，あるいは共栄を意識した行動が必要であると思う。しかし，私は，当面は他人にとって迷惑だと思われても，あるいは実際に迷惑をかけても，長期的な視点で見れば，当該の他人に大きな利益を生み出す行動もあると考える。たとえ自分勝手と周囲に映っても他人のプラスを生み出すために取るべき行動があり，他人から自分勝手と非難される覚悟が必要なことがある。大切なのは，他人のための利益を生み出すことに対する長期的な視野とその目的へのひたむきな姿勢である。この意味で私は，「他人に迷惑をかけることができる人間」になる努力が必要だと思うし，自分勝手だとみられることを苦にしないことも必要だと思う。